

## 山口剛玄先生について

山口剛玄先生は空手家で全日本空手道剛柔会の創始者でもありました。昭和47年秋田大学空手道部に所属していた時、かの御高名な先生が秋田の地を訪問されたことがありました。この時先生は60代前半と思われましたが、秋田県空手道関係者の前で形サンチンを模範演武してくださいました。あの時の息吹と力強さそして迫力は今でも忘れることができません。

平成7年12月発行「空手還郷 石郷岡勇浩先生を懐ふ 秋田空手道の歩み」の中に当時の先生を囲んだ関係者との懐かしい記念写真が掲載されています。あらためてインターネットに掲載されている先生の経歴等を以下に記述してみました。剛柔流の益々の発展と秋田大学空手道部の活躍を願ってやみません。

事務局記

氏名 山口剛玄先生（本名 實実）

生誕 1909年1月21日於鹿児島市

死没 1989年5月20日80歳（後に拳聖の称号を追贈されました。）

出身校 立命館大学

経歴（Wikipediaを参照、「空手還郷」を引用しました。）

1923年沖縄県出身の丸田武雄氏から14歳で空手を習い始めた。

1928年関西大入学

1929年同大退学新選組屯所跡に剛柔流空手道拳法道場を開設し昭和新選組と称した。立命館大に入学し相撲部と応援団に籍をおいて唐手術研究会を創設した。毎年頻繁に関西訪問の宮城長順氏のお供をしていた。

1937年同大を卒業後取得した司法書士の資格で自活していた。

宮城長順氏から剛玄の名を授けられて本土空手道普及の命を受けた。

1939年石原莞爾中將の特命を受けて満州で東亜連合の活動に従事した。

東亜武道大会満州代表使節団長として来日しモンゴル相撲を紹介した。

1941年大日本武徳会から練士号を受けた。

1945年終戦によりシベリアに收容されて2年後帰国した。

1949年台東区浅草に空手道場を開設した。

1950年全日本空手道剛柔会を創設した。（宮城長順名誉会長）

1951年十段範士の号を授けられた。

1963年第1回剛柔会全日本空手道選手権大会を開催した。

1964年全日本空手道連盟が結成されて審議委員・元老に就任した。

1965年国際空手道剛柔会（IKGA）を結成して会長を務めた。

1971年日本空手道専門学校を設立し初代校長となった。

1974年フィリピンからタマロー勳章を受けた。

山口剛玄先生を秋田市に迎えて



(前列中央の和服着用：山口剛玄先生、向かって左隣：石郷岡師範)